

WITH
YOU

より近く。より深く。
ともに未来へ。

REPORT

中間ディスクロージャー誌 | 2020年3月期 営業のご報告 |

ごあいさつ

平素より、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年の台風ならびに大雨により被災された皆さまに、心よりお見舞いを申し上げます。

また、未だ避難を余儀なくされ社会生活や事業の再建が容易でない方々の、一日も早い復旧・復興を願うとともに、私たちも地元金融機関として県内産業の維持・発展に力を尽くしてまいり所存です。

さて、中間ディスクロージャー誌に当行の経営内容や業績、CSRへの取組みなどをまとめました。ご覧いただければ幸いです。

当中間期のわが国経済は、企業収益が底堅く、雇用環境の改善も続き、景気は緩やかな回復基調で推移しました。当行グループが営業基盤とする千葉県は、一部に弱さが見られるものの、個人消費の持ち直しや雇用情勢の改善が続くなど、景気は緩やかに回復しております。

このような金融経済環境のもと、当行は2019年4月にスタートさせた中期経営計画「コンサルティング考動プロジェクト2022～より近く。より深く。ともに未来へ。」に基づき、各種施策を積極的に展開して

おります。コンサルティング機能をさらに進化させ、お客さまが抱える事業承継や人材、経営効率化などの経営課題やさまざまなニーズにお応えし、「コンサルティング考動の高度化」をさらに進めてまいります。

最後になりましたが、県内被災地域の復興支援と産業の維持・発展は、地元金融機関としての最大の責務と認識しております。株主、お取引先、地域の皆さまからのご期待にお応えできるよう、役職員一丸となって諸課題に取り組んでまいります。引き続き、ご指導、ご協力のほどお願い申し上げます。

2020年1月



取締役頭取・CEO

梅田 仁司

目次 -Contents-

01	ごあいさつ、目次、プロフィール
02	企業理念、コーポレートスローガン、中期経営計画、業績のご報告（単体）
03	地域密着型金融の推進
08	フィンテックの取組み
09	CSRの取組み - 地域社会・地域経済への貢献 - ・Environment（環境） ・Social（社会） ・Governance（ガバナンス）
13	お客さま本位の業務運営に関する取組み

<財務データ>

14	目次
15	連結財務データ
26	単体財務データ

<自己資本の充実の状況等について>

47	目次
48	自己資本の構成に関する開示事項（連結）
50	定量的な開示事項（連結）
57	自己資本の構成に関する開示事項（単体）
59	定量的な開示事項（単体）
66	参考

プロフィール -Profile-（2019年9月30日現在）

名 称 株式会社千葉興業銀行
〔英文表示〕 The Chiba Kogyo Bank, Ltd.
本店所在地 千葉市美浜区幸町二丁目1番2号
設立年月日 1952年1月18日（営業開始：1952年3月3日）
資本金 621億2,053万3,949円
店舗数 74店舗（県内72店舗、都内2店舗）
従業員数 1,401名

企業理念 *-Corporate philosophy-*

地域とともに

私たちは、地域とともに歩む銀行として、人々の幸せを求めて、豊かなふるさとづくりに努めます。

お客さまのために

私たちは、積極的にお客さまのニーズに応え、創造性を発揮し、より質の高いサービスの提供に努めます。

「親切」の心で

私たちは、心のふれあいを大切にし、自己を磨き、親切ナンバーワンをめざします。

コーポレートスローガン *-Corporate slogan-*



より近く。より深く。
ともに未来へ。

22年ぶりに新たなコーポレートスローガンを制定いたしました。

千葉興業銀行は、「コンサルティング・バンク」として、これまで以上に身近に、親身になって考動し、お客さまや地域とともに未来を創造してまいります。

中期経営計画 *-Medium term management plan-*

コンサルティング考動プロジェクト2022

～より近く。より深く。ともに未来へ。～

全職員が一丸となって取り組み、長期経営ビジョンである「選ばれ続け、地域・お客さまに欠かせない、絶対的存在感のある銀行」を実現させ、お客さまと当行の持続的な成長と企業価値の向上に努めてまいります。

業績のご報告 (単体)

貸出金残高は、前年同期比364億円増加の2兆1,082億円（年間増加率1.7%）となりました。

預金残高は、前年同期比367億円増加の2兆5,294億円（年間増加率1.4%）となりました。

経常利益は、前年同期比12億57百万円減少の42億91百万円、中間純利益は、同5億54百万円減少の32億79百万円となりました。

(注) 計数は単位未満切捨て表示となっております。

中小企業の経営の改善および地域の活性化のための取組み状況 (地域密着型金融の推進)

企業理念

地域とともに お客さまのために「親切」の心で

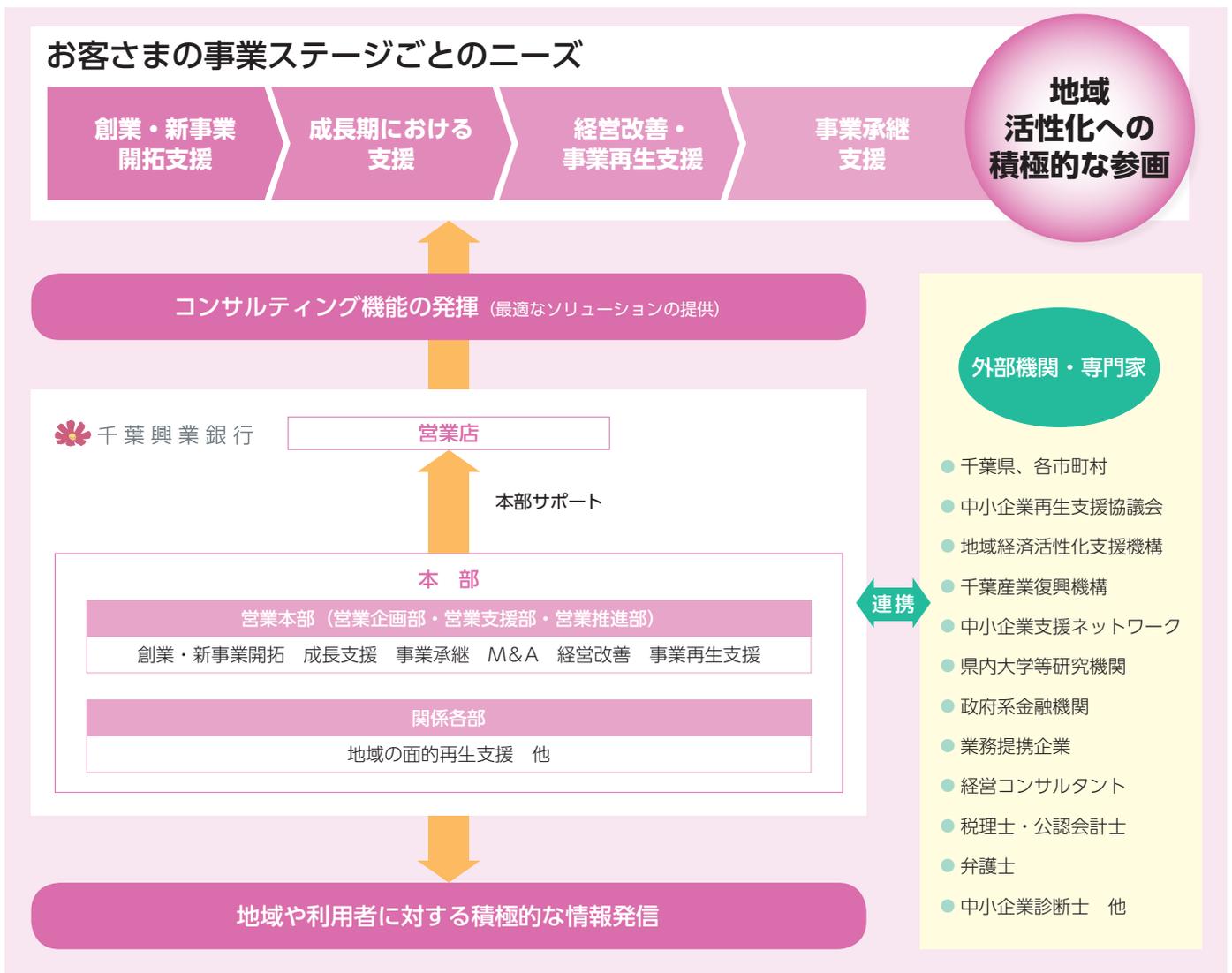
この企業理念の実践こそが、地域密着型金融の実現そのものであると考えております。地域の中小企業・個人事業主、個人のお客さまの資金ニーズに積極的に応えし、円滑な資金供給に努めるとともに、地域の中小企業等に対する経営支援や地域経済の活性化に積極的に貢献し、地域金融機関としての責務を果たしてまいります。

1 中小企業の経営支援に関する取組み方針

当行は、地域の中小企業等お客さまの状況をきめ細かく把握し、関係する他の金融機関等と十分連携を図りながら、円滑な資金供給に努めるとともに、お借入条件の変更等のご相談へ適切に対応してまいります。特に、地域金融機関として地域経済の活性化および地域における金融の円滑化等に向け、「地域密着型金融推進に関する基本方針」「金融円滑化に関する基本方針」に基づき、コンサルティング機能の発揮を通じ、中小企業をはじめとするお客さまの経営改善等に向けた取組みを積極的に支援してまいります。

2 中小企業の経営支援に関する態勢整備の状況

当行は、中小企業等の経営の改善および地域の活性化に向け、本部と営業店との協働や、外部機関・専門家の活用・連携により、中小企業等のお客さまの抱える経営課題に対し、適切なコンサルティング機能を発揮するよう態勢を整備し、取り組んでおります。また、当行は、中小企業経営力強化支援法に基づく「経営革新等支援機関」の認定を受けております。



3 中小企業の経営支援に関する取組み状況

(1) 創業・新事業開拓をめざす企業に対する支援

対応方針

- ◆ 公的な補助金や制度融資、企業育成ファンド等を活用し、事業立上げ時の資金需要へ積極的にお応えしております。
- ◆ 産官学連携を活用し、企業の技術評価と製品化・商品化、販路開拓、人材確保等を支援しております。

事業性評価への取組み

地域密着型金融の推進による地域経済や地元の産業・企業の発展への貢献に向け、財務データや担保・保証に必要以上に依存することなく、お取引先企業の事業内容や成長可能性等を適切に把握した上で（事業性評価）、これまで以上に、企業の各種ニーズや経営課題に対する各種ソリューションを提供してまいります。

事業性評価にあたっては、お取引先企業の財務状況などの定量的な分析に加え、企業のビジネスモデル、商流、組織力、技術力といった定性的な分析を行い、経営課題やニーズの把握を行ってまいります。

事業性評価による支援

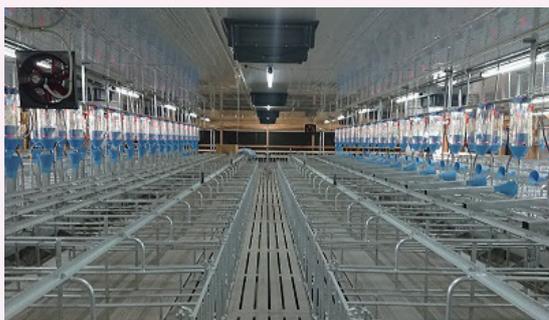
畜産業コンサル (2019年8月)

当行は、食肉加工業者と養豚生産者が協働で養豚事業を行う新たな法人を設立するコンサルティングを実施しました。高齢化の進展、後継者の不足により、養豚を含む畜産業界は生産農家の減少が課題となっています。食肉加工業者にとって生産農家の減少は、安心・安全な原材料を安定的に仕入れることができなくなる可能性があります。また、畜産業の衰退にもつながり、地方経済の縮小と地域の人口流出を加速させることにもなりかねません。

このような背景から、地域の有力企業である当行お取引先より相談を受け、養豚生産を活性化させるコンサルティングに着手しました。

当行の「アグリ・フードビジネス」担当が、全面的にサポートを行い、事業計画の策定や認定農業者の取得支援を実施しました。また、事業性評価を行い、政府系金融機関と連携して超低金利事業資金の融資も確保しました。本件は、全国有数の畜産県である千葉県の畜産業の活性化を図るとともに、地域雇用の新規創出など、地方創生に寄与することが期待されています。

当行はこれからも資金提供のみではなく、お客さまのビジョンを共有し、未来戦略をともに創り、地域経済の持続的な成長を支援してまいります。



経営者保証に関するガイドライン

経営者保証に関するガイドラインの趣旨や内容を十分に踏まえ、経営者保証に依存しない融資の促進と、既存の保証契約の見直しに取り組んでおります。

	2018年度実績	2019年度上期実績
新規で無保証で融資した件数	1,955件	834件
保証契約を変更した件数	6件	30件
保証契約を解除した件数	68件	58件
新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合	16.6%	16.9%

(2) 成長段階にある企業に対する支援

対応方針

- ◆ ビジネスマッチングや技術開発支援による販路拡大支援、海外進出等の新たな事業展開に向けた情報の提供、事業拡大に必要な調達手段の多様化への対応等積極的に支援しております。
- ◆ 中小企業基盤整備機構等の公的機関、地方公共団体や中小企業支援団体、他の金融機関等と連携し、企業が成長する過程に必要なサポートを行っております。

2019年4月～9月の取組み実績

■ お取引先企業Aさま向け 経営支援（組織人事）

経営理念の浸透と人事制度構築に向けたコンサルティングを実施しました。従業員アンケートや経営者・従業員インタビューを通じてお取引先企業Aさまの強みを抽出し、組織人事改革に向けた改善策を立案、アクションプランを策定しました。
また、アクションプランの確実な実行に向けた継続支援も受注いただいております。

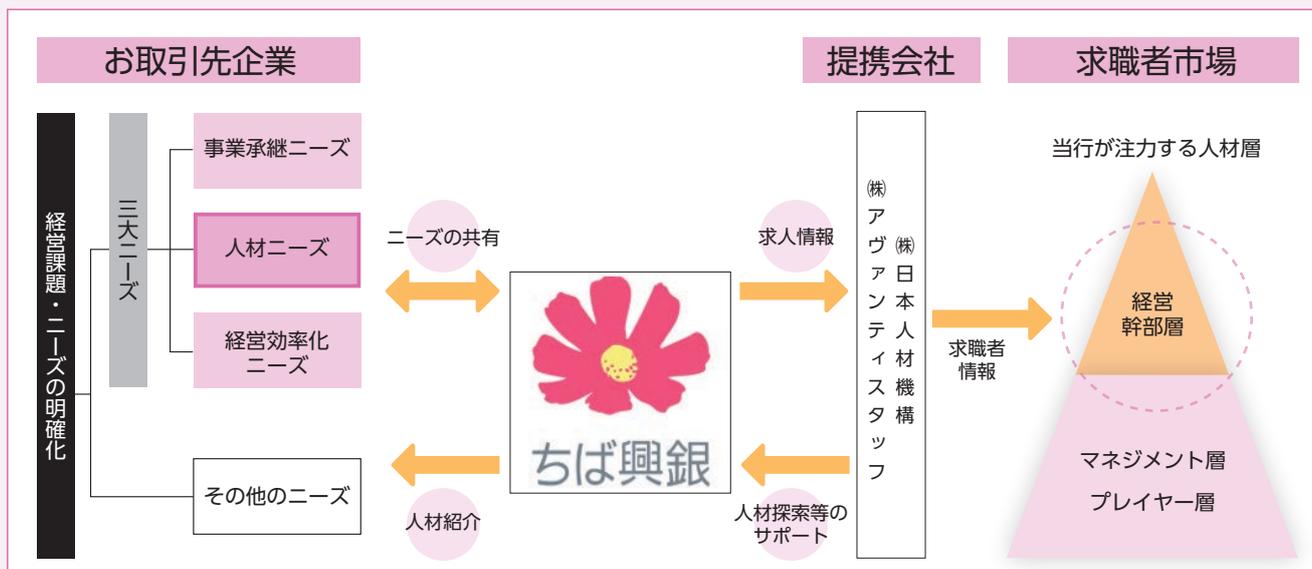
人材支援

人材紹介業務への参入（2019年11月）

当行は、お取引先企業の人材ニーズへの対応力をより一層強化するため、関係当局の許可を得て有料職業紹介事業（以下、人材紹介業務）へ参入することとしました。

銀行本体で人材紹介業務の許可申請をした金融機関は、千葉県においては初めてです。

当行がこれまで培ってきた経営者に寄り添うコンサルティング力を活かし、経営幹部人材を中心とした紹介支援を行ってまいります。



人材支援

高度外国人材マッチング会開催（2019年11月）

外国人労働者の雇用を検討する企業を対象とした高度外国人材*マッチング会を、当行と株式会社フォーバル、特定非営利活動法人コスモス経営塾の共催により、開催いたしました。

当行は、「コンサルティング・バンク確立」実現に向け、外部機関との連携により、地域金融機関としてサービス拡充に取り組んでおります。

*高度外国人材とは、「専門的・技術的分野」に該当する仕事を行っている外国人であり、主たる在留資格としては「技術・人文知識・国際業務」などがあります。



(3) 経営改善・事業再生が必要な企業に対する支援

対応方針

- ◆ 経営課題の把握と分析による取引先企業の事業持続可能性を踏まえた経営改善・事業再生等に対して積極的に取り組んでおります。
- ◆ 経営改善・事業再生支援の実効性を向上させるため、行員のスキルアップに取り組んでおります。

経営効率化支援

在庫経営の成效事例セミナー開催 (2019年7月)

在庫管理は、多品種・短納期、小ロット化など顧客ニーズの多様化によって、ますます難しくなりつつあります。顧客ニーズに応えながら、在庫コストをかけずに適正に管理する在庫経営は、流通業・製造業・卸売業等にとって、重要な課題であるといえます。

当行は、「キャッシュを生み出す在庫経営」をテーマに、在庫経営についての専門家をお招きし、「在庫経営の成功事例セミナー」を開催しました。また、システム開発会社の株式会社アイルが、在庫管理システムについての個別相談会も行いました。



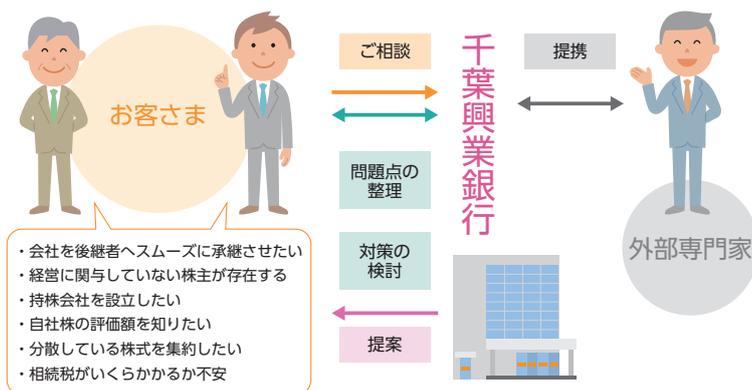
(4) 事業承継が必要な企業に対する支援

対応方針

- ◆ 事業承継問題は当該企業の存続のみならず、取引先との商流、従業員の雇用、地域への影響等も大きいことから、経営者へ積極的に関与しております。
- ◆ 必要に応じて税理士や弁護士等の外部専門家と連携し、自社株評価や相続税試算等を行い、相続や自社株譲渡の対策、後継者の株式買取資金を支援しております。
- ◆ 資産の承継以外にも、事業の見直し（第二創業）、ノンコア事業の切り離し、M&A、後継経営者の人材育成等、存続に必要な提案を積極的に行っております。

オーナー会社の経営者にとっては、事業の発展とともに後継者へのスムーズな経営権の承継である「事業承継」は重要な経営課題です。「経営の承継」には、経営のノウハウと会社管理能力の承継が必要であり、後継者育成を含め比較的長い時間を要します。また、「資産の承継」については、承継すべき自社株の評価や経営の支配権の問題から「分散ができない」等が障害となり、思いもかけない税負担が生じる場合があります。

当行はこうした「事業承継」のご相談にお応えできるサポート体制を整えており、専門の担当者をご提案を行います。



事業承継支援

ちば興銀「コスモス経営塾」第8期生開講式 (2019年5月)

ちば興銀「コスモス経営塾」は、地元企業育成支援・後継経営者育成支援の取組みの一つとして、2004年9月に設立・発足いたしました。幅広い視点で経営を捉えていただくための視察会やセミナーを定期的に行い、海外視察研修なども実施しております。

2019年5月には開講式を開催し、第8期生の活動を開始いたしました。これまでに、千葉県の地方創生をテーマに、ヤマサ醤油株式会社銚子工場への視察や、各界の専門家や著名講師をお招きした講演会を行っています。



4 地域の活性化に関する取組み状況

対応方針

- ◆ 「医療・介護・福祉」や「農林水産」といった成長分野事業の育成を通して地域経済の活性化につなげております。
- ◆ 地方公共団体や中小企業支援団体と連携し、地域情報の収集・蓄積と分析、ノウハウ・人材の提供を行っております。

「地方創生」推進・地域活性化への取組み

当行は、県内の自治体や教育機関、お取引先企業の皆さまと連携し、「地方創生」推進への取組みをさらに展開していくとともに、これからも地域経済の持続的発展に努めてまいります。

千葉県物産展 (2019年11月)

明治安田生命保険相互会社（以下、同社）と共同で「千葉県物産展」を開催いたしました。当行が同社と本イベントを開催するのは今回が初めてです。

公益社団法人千葉県観光物産協会の協力および千葉県の後援のもと、当行お取引先15社が各社自慢の商品を販売いたしました。当日は、千葉県マスコットキャラクター「チーバくん」も応援にかけつけました。その他、千葉県観光のPR、同社社員食堂ではピーナッツなどの千葉県産の食材を使ったコラボメニューも提供いたしました。

当行はこれからも千葉県産品の消費拡大に積極的に取り組むとともに、県内関係機関と協力して「千葉県を元気にする」活動を一層推進してまいります。



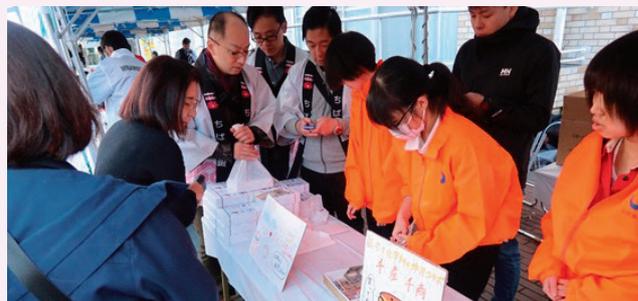
千葉県の魅力ある商品・食材を広く紹介し、千葉県産品の消費拡大に積極的に取り組んでおります。

千産千商2019 in 聖徳祭 (2019年11月)

聖徳大学短期大学部との産学連携協定に基づく活動の一つとして実施しており、今年で10回目となります。

本イベントは、千葉県の魅力ある商品・食材を県内での消費と売につなげ、地域経済の活性化に資することを目的としています。

同大学学園祭に当行お取引先8先が出展し、千葉県産の材料を使用した「おいしい食べもの」の展示・販売をいたしました。



國學院大學ホームカミングデー (2019年10月)

國學院大學渋谷キャンパスにて開催された「ホームカミングデー院友会支部物産展」に当行お取引先6社が千葉県名産品の出展および観光案内などを行いました。

当日は約1,200名の方にご来場いただき、出展企業にとっては、展示・販売を通して自社商品を東京都内および県外消費者に直接PRできる機会となり、知名度浸透にもつながりました。また、特産品の販売と併せて、千葉県内へのインバウンド増強の一助となりました。



フィンテックの取組み

フィンテックの取組み

テクノロジーの進化や社会構造の変化に対応し、お客さまにより安全で利便性の高いサービスを提供してまいります。

Web口座開設受付開始 (2019年8月)

お手元のパソコン、スマートフォンから、当行ホームページにアクセスしていただくことで、普通預金口座や、投資信託振替決済口座(NISA口座含む)の新規の口座開設受付が可能となるサービスを開始いたしました。

ご自宅などからいつでも簡単にお申し込みができ、窓口にご来店いただくことなく、手続きが完了します。また、Web口座のため、通帳の保管や記帳などの手間がいらす、紛失・盗難の心配もありません。



生保・投信 タブレット端末による申込受付開始 (2019年7月、10月)

タブレット端末による生命保険・投資信託の申込受付を開始いたしました。これにより、お客さまのお申込書類へのご記入・ご捺印等のご負担を軽減するとともに、お手続きに要する時間を短縮することが可能となるため、当行担当者はこれまで以上に充実したご提案・ご説明を行うことができるようになります。

「ペーパーレス」「印鑑レス」によって完結するお取引を拡大し、お客さまの利便性向上と迅速かつ正確な受付事務の実現を図ります。



動画配信サービス「ローンシェルジュ」提供開始 (2019年6月)

住宅ローンの契約に関する説明を効率化する動画配信サービス「ローンシェルジュ」の提供を開始いたしました。

住宅ローンのお申し込みをするお客さまに対して、Web上で内容や手続きなどの動画を提供することで、ローンに伴う諸事項の理解を促し、来店時のスムーズな契約手続きにつなげるものです。スマートフォンやタブレットにも対応しているため、お客さまは場所や時間にとらわれずに視聴することができます。

当行においては、お客さまの状況に応じた動画と説明項目ごとのアンケートにより、店舗の担当がお客さまの理解度や要望を事前に把握し、契約時の説明に役立てることが可能となります。

「J-Coin Pay」を利用した決済開始 (2019年8月)

千葉ロッテマリーンズのホーム球場「ZOZOマリンスタジアム」主催試合において、QRコードを活用したスマホ決済サービス「J-Coin Pay」導入によるキャッシュレス決済を開始いたしました。

「J-Coin Pay」の導入に伴い、2019年度レギュラーシーズン終了までの期間、マリンスタジアム内飲料販売(売り子からの飲料購入)の際、「J-Coin Pay」を利用された方全員に割引キャンペーンを実施いたしました。

※J-Coin Payは、株式会社みずほ銀行が提供するスマホ決済サービスです。
※QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



千葉県内中小企業向けビジネス交流会 協賛 (2019年11月)

当行は、千葉県内中小企業向けビジネス交流会(主催 公益社団法人千葉県情報サービス産業協会)へ協賛いたしました。

また、同交流会には当行子会社である「ちば興銀コンピュータソフト株式会社」が出展企業として参加いたしました。

出展内容
【防犯・監視】
顔認証システム
全方位カメラ
クラウド型監視ソリューション「TRASCOPE(トラスコープ)」
【キャッシュレス導入対応】
マルチQR決済ソリューション

CSRの取組み – 地域社会・地域経済への貢献 –

ちば興銀のCSR（企業の社会的責任）

当行は、企業理念「地域とともに お客さまのために『親切』の心で」を定めるとともに、地域に根ざし、地域とともに持続・発展する地域金融機関の社会的責任として、企業理念に基づく事業活動の展開により、ステークホルダーの皆さま（お客さま、株主さま、従業員、地域社会）の成長と発展に貢献することをめざしております。

ESG（環境・社会・ガバナンス）



2006年国連により国連責任投資原則（PRI）が提唱され、企業分析・評価を行う上で、長期的な視点を重視し、ESG情報を考慮した投資行動を求める内容が示されました。

ESGとは、Environment：環境、Social：社会、Governance：ガバナンスの頭文字をとったものです。

SDGs（持続可能な開発目標：Sustainable Development Goals）



2015年に国連総会で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に、SDGs（エスディーゼーズ）が盛り込まれました。SDGsとは、貧困の撲滅や自然環境の保全等、世界が持続可能な発展を実現するための開発目標で、17の目標と169のターゲットから構成されております。

下表にCSRの取組みをESGの観点で整理しました。各取組みへの詳細は該当ページをご覧ください。

Environment（環境）		
環境への取組み	ちば興銀の森 環境美化活動 環境に配慮したエコ（eco）でやさしい店づくり	→10ページ
Social（社会）		
ダイバーシティ推進に向けた取組み	「オフィスカジュアル」および「通年ノーネクタイ」の導入 ダイバーシティ推進に向けた取組みに関する表彰・認定 女性行員の管理職への登用、融資事務・融資渉外業務や本部業務への職域拡大 内閣府支援「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」行動宣言への賛同	→10ページ
社会奉仕活動	自転車反射板（サイクルリフレクター）の贈呈 「小さな親切」運動の推進	→11ページ
金融教育活動	エコノミクス甲子園千葉大会 夏休み体験隊「サマーキッズスクール2019」	→11ページ
文化・スポーツ活動	ちば興銀マッチデー開催	→11ページ
災害復旧への取組み	被災地支援活動 災害復旧支援融資制度の取扱い	→13ページ
Governance（ガバナンス）		
コーポレート・ガバナンスについて	当行のコーポレート・ガバナンス体制 業務執行、内部監査等に係る体制	→12ページ

※事業活動を通じた環境ビジネスや社会課題（少子高齢化・人口減少・産業育成など）への取組みは「地域密着型金融の推進」（03～07ページ）「フィンテックの取組み」（08ページ）をご覧ください。

Environment 環境

環境への取組み

環境の保全と美化に努め、千葉県の豊かな自然環境を未来に引き継いでいくための活動を行っております。



ちば興銀の森

塩害や松くい虫などの影響により壊滅状態となった匝瑳市新堀海岸県有林の再生をめざして、2014年4月より植栽や草刈などの活動を開始。5,000本の植栽を完了。



環境美化活動

春の県下一斉ゴミゼロ運動(行員・スタッフおよびその家族(参加総数約1,000名)がボランティア参加。



環境に配慮したエコ(eco)でやさしい店づくり

環境にやさしく、お客さまにご利用いただきやすい店づくりを推進。風力と太陽光を利用した街路灯や太陽光発電システム、山武杉の間伐材を使ったATMコーナーポールを設置。



Social 社会

ダイバーシティ推進に向けた取組み

多様な人材が能力を発揮できる環境づくりに努め、企業価値の向上を目指してまいります。



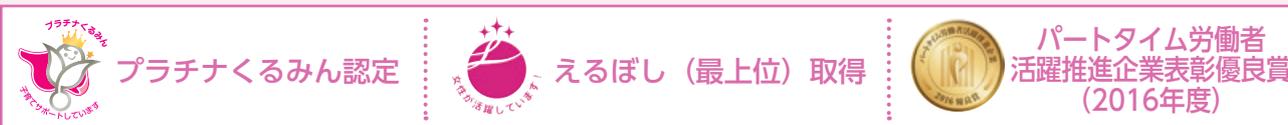
「オフィスカジュアル」および「通年ノーネクタイ」の導入 (2020年1月)

従業員満足度(ES)向上策として、本部部署を対象とする「オフィスカジュアル」および全行員を対象とする「通年ノーネクタイ」での勤務を導入しました。また、採用面接を受ける学生等の服装についても、リクルートスーツの着用は必須としないこととしました。本取組みは、若手行員発案の企画が採用され、実現したものです。

「オフィスカジュアル」および「通年ノーネクタイ」を通じ、行員・スタッフ一人ひとりの自律性を期待し、自由闊達な組織風土の醸成に努めてまいります。

ダイバーシティ推進に向けた取組みに関する表彰・認定

当行のダイバーシティ推進に向けたさまざまな取組みが評価され、これまでに以下の表彰・認定を受けております。



女性行員の管理職への登用、営業店の融資事務・融資渉外業務や本部業務への職域拡大を推進しています。

管理職への登用

- 女性の管理職(課長級以上) 98名(登用率18.01%)【2022年3月末目標:20%】
- 女性の営業店内各課課長 54名(登用率31.95%)

融資事務・融資渉外業務、本部業務への配置

- 女性の融資事務・融資渉外業務担当者 61名(割合15.02%)
- 女性の本部業務担当者 81名(割合21.83%) (2019年9月末現在)

内閣府支援「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」行動宣言への賛同 (2019年11月)

組織のトップを務める男性リーダーが、さまざまな女性の意欲を高め、能力を最大限発揮できるよう、行動宣言に沿って具体的な取組みを進め、取組みの輪を社会的に影響のある男性リーダーに広げていくことをめざしています。

社会奉仕活動

未来を担う子どもたちの安全と健全な育成を願い、寄付・募金活動などにも積極的に取り組んでおります。



自転車反射板（サイクルリフレクター）の贈呈

「コスモス交通安全協会の」（千葉県報社と当行の共同設立）より、県内の新中学生に自転車反射板（サイクルリフレクター）30,000個を贈呈。25年間で延べ346,400個贈呈。



「小さな親切」運動の推進

全国的組織「小さな親切」運動の千葉県本部として活動。
車いすや衣料品の贈呈を実施。



金融教育活動

地域経済の将来を担う児童や学生達の金融教育活動に携わり、普及活動に取り組んでまいります。

エコノミクス甲子園千葉大会

金融知力普及協会が主催する全国高校生金融経済クイズ選手権「エコノミクス甲子園」千葉大会（当行と千葉銀行の共催）を開催。



夏休み体験隊「サマーキッズスクール2019」

県内の小学5、6年生を対象に、13回目となる夏休み体験隊「サマーキッズスクール2019」を開催。



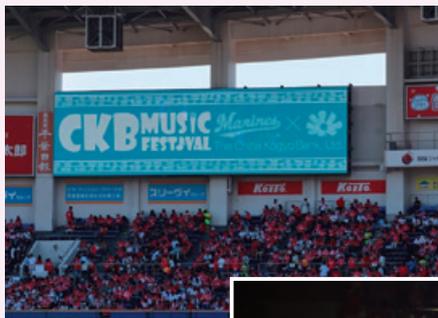
文化・スポーツ活動

地域の芸術・文化の発展とスポーツ振興のため、長年にわたり、さまざまなイベントを協賛・開催しております。

ちば興銀マッチデー開催

千葉ロッテマリーンズ公式戦

ZOZOマリンスタジアムで開催された千葉ロッテマリーンズ vs 福岡ソフトバンクホークスの試合を「CKB MUSIC FESTIVAL」と題し、抽選会やストラックアウトなど、来場者が楽しめるイベントを開催。



千葉ジェッツふなばし公式戦

船橋アリーナで開催された千葉ジェッツふなばし vs 京都ハンナリーズの試合を、「COSMOS DAY」として協賛。

今般の台風被害を受けた館山、鴨川から小・中学生20人を観戦に招待し、試合後に千葉ジェッツふなばしの選手と記念撮影を実施。

当行が架け橋となり、千葉ロッテマリーンズのキャラクター「リーンちゃん」も一緒に千葉ジェッツふなばしの公式戦を応援。



Governance ガバナンス

コーポレート・ガバナンスについて



当行のコーポレート・ガバナンス体制

基本的な考え方

当行におけるコーポレート・ガバナンスとは、株主をはじめ顧客、役職員、地域社会等のステークホルダーの立場を踏まえた上で、当行が透明・公正かつ迅速・果敢な意思決定を行うための仕組みを意味しております。

当行の基本的価値観である企業理念「地域とともに お客さまのために『親切』の心で」の実践に向けて、実効的なコーポレート・ガバナンスの実現が必要不可欠であるとの認識に基づき、コーポレート・ガバナンスの強化および充実を最重要経営課題の一つに位置付けております。

業務執行、内部監査等に係る体制

当行は、監査役会設置会社の形態を採用しており、機関として株主総会、取締役会、監査役会、会計監査人を置いております。

取締役会

経営の最高意思決定機関および監督機関である取締役会は、取締役会規程等に基づき、経営方針等の決定を行うとともに、業務の執行状況の報告を受け、その遂行状況の監督を行っております。

取締役会の下部組織として、経営会議を設置し、取締役会の権限の一部を委譲することにより、経営の効率化、執行のスピードアップを図っております。

監査役会

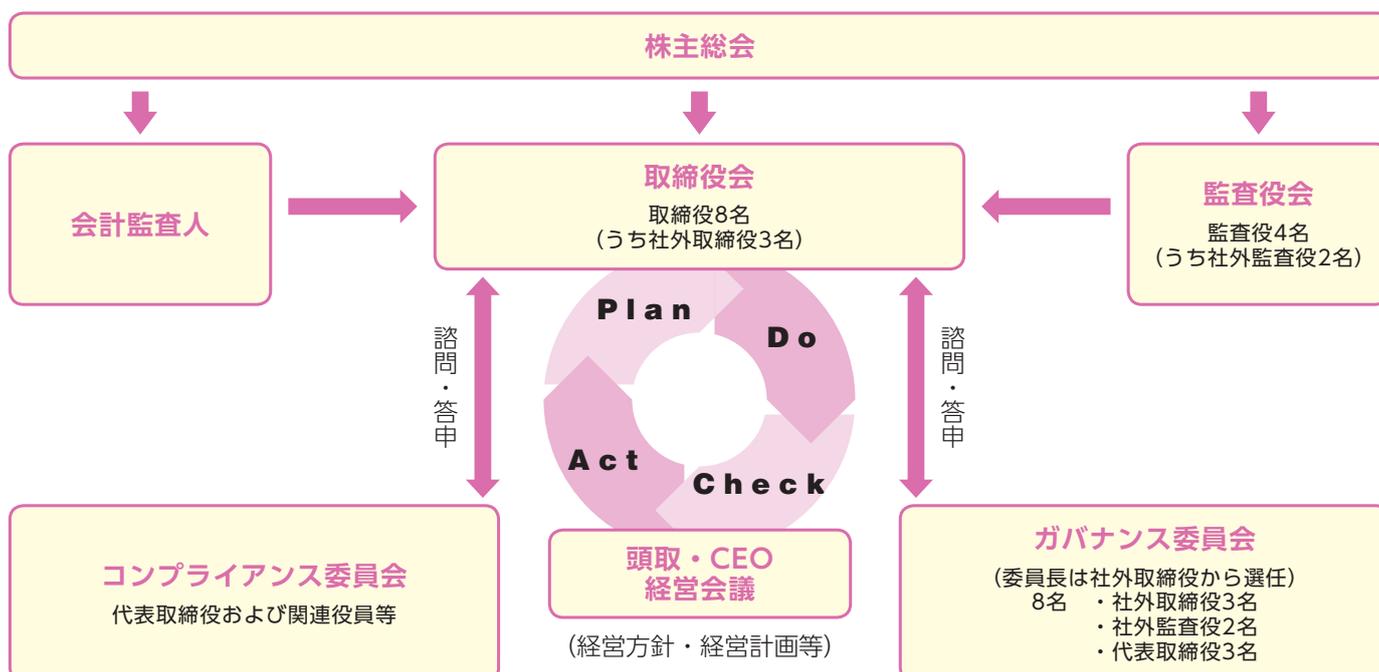
監査役は、監査役監査基準に則って、取締役が行う意思決定状況、法令等遵守、リスク管理、企業情報開示などを含む内部統制システムの構築・運用状況等の監査を行っております。

ガバナンス委員会

当行は、取締役会の諮問機関として、社外役員を中心としたガバナンス委員会を設置しております。

ガバナンス委員会は、役員の人事や報酬をはじめとする経営上の重要事項の決定プロセスにおいて、積極的に独立役員の外部知見を取り込むとともに、独立性および客観性を確保することを目的として設置しております。取締役会の実効性向上、ひいては当行の持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を図っております。

組織図



災害復旧への取組み

2019年9月、10月に発生した台風・大雨により被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。当行は、被災地の一日も早い復旧・復興に貢献してまいります。



被災地支援活動

当行は、被災された地域へ行員をボランティア派遣いたしました。各災害ボランティアセンターで受付や人員配置、物資の手配などの運営ボランティアとして活動し、電源車による停電地区での電気供給、水やブルーシート等の物資の提供などの復旧支援も実施いたしました。



また、被災された方々の救援や被災地の復旧・復興にお役立ていただくため、義援金1,000万円を千葉県へ拠出いたしました。ちば興銀「小さな親切」運動推進本部を通し、当行および関連会社の役職員約2,500名へ義援金募集活動も行いました。

災害復旧支援融資制度の取扱い

当行は、被害を受けられた被災者の皆さまの災害復旧にお役立ていただくため、「災害復旧支援資金『頑張ろう!千葉』」および「災害復旧支援ローン」を全店で取り扱っております。

	頑張ろう!千葉	災害復旧支援ローン	
対象者	千葉県内に事業基盤を有する法人または個人事業者	被災した建物の所有者の方	
資金用途	突風等による災害復旧に伴う事業資金(運転・設備)	有担保	災害復旧にかかわる本人居住用の土地・住宅の購入、住宅の新築・改修資金
		無担保	住宅の災害復旧にかかわる改修・リフォーム資金

※お申込期間2020年4月30日(木)まで

お客さま本位の業務運営に関する取組み

FIDUCIARY DUTY フィデューシャリー・デューティー

当行の「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」にかかる取組状況

当行は、資産運用関連業務において「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」を策定・公表し、お客さまの多様なニーズに合わせた最適なお提案やコンサルティングの実践により、お客さまの安定的な資産形成の実現をサポートできるよう取組みを行っております。

1 お客さまのニーズに適した商品ラインアップの構築

お客さまの資産形成・資産運用に関する多様なニーズにお応えできるよう、商品ラインアップの拡充に努めております。

商品ラインアップ数 (2019年9月末)	
投資信託商品	112
「うちノロード」商品	20
保険商品	34

2 お客さまへのコンサルティングを通じた投資商品の提供

お客さまの金融知識や資産状況、お取引の目的等に応じた適切な商品のご提供に努めております。投資信託積立サービスや、「つみたてNISA」などの税制優遇制度の活用をお勧めすることで、少額からの積立・分散投資による長期の資産形成をご提案しております。ご提案する商品・サービスを十分ご理解いただけるよう分かりやすい資料の作成に取り組んでおります。また、タブレットを用いた投資信託のポートフォリオ提案等を行っております。

3 お客さまそれぞれのゴールの実現に向けたアフターフォローの実施

アフターフォローを通じたお客さまの適切な投資判断に資する情報提供やアドバイスに努めております。

4 お客さまが安心して安定的な資産形成を実現するための基盤の構築

お客さまに金融に関する知識や理解を深めていただけるよう、全支店や県内各地の外部会場にて各種セミナーや相談会を随時開催しております。より多くのお客さまにご参加いただけるよう、平日だけでなく休日にも開催しております。また、お取引先企業を訪問し、従業員の皆さまへ資産形成や金融に関する制度活用等に関するセミナーを開催しております。お客さまへご提供する商品・サービスの内容や市場環境等に対する理解を深めるとともに、高い職業倫理を保持し、常にお客さま本位で考え行動できる人材を育成してまいります。